

# コロナ禍のなかで、就学援助に生徒会費支給が加わる！！ 一步前進だけれど、PTA会費、クラブ活動費支給には後ろ向き

2021年度の就学援助費補助金単価(年額)

	小学校	中学校
入学準備金(新入学児童生徒学用品費等)	5万1060円	6万円
学用品費	1万1630円	2万2730円
通学用品費(第1学年を除く)	2270円	
校外活動費	宿泊なし	1600円
	宿泊あり	3690円
体育実技用具費	柔道	7650円
	剣道	5万2900円
	スキー	3万8030円
	スケート	1万1810円
修学旅行費	2万2690円	6万910円
通学費	4万20円	8万880円
卒業アルバム代等	1万1000円	8800円
クラブ活動費	2760円	3万150円
生徒会費	4650円	5550円
PTA会費	3450円	4260円
オンライン学習通信費(通信機器の購入またはレンタルの費用)	1万2000円	
医療費(結膜炎、中耳炎などの指定された病気)	1万2000円	
学校給食費(完全給食)	5万3000円	6万2000円

※文部科学省が示す要保護児童生徒援助費補助金単価です。自治体によっては支給されない費用があります

就学援助は、経済的に厳しい家庭の子どもの義務教育就学を可能とするため、市町村が一定の基準で教育にかかる経費を補助するものです。市町村は文科省の要保護児童生徒基準額(生保世帯に支給)に準じて、一定所得以下の家庭の子ども(準用保護)に支給しています。市の支給対象世帯の年収基準の一例は下の通りです。詳しくはお問い合わせください。

家族構成 ( ) は年齢	年収額
母(32)、子(6)、子(4)	332万円以下
父(34)、母(32)、子(6)	350万円以下
父(35)、母(30)、子(9)、子(4)	378万円以下

市の資料より一部を転載しました。

問題もあります。

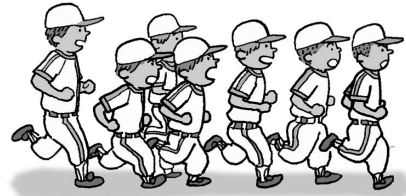
一つ目。申請しないと受給できないので、支給条件を満たしている子どもでも、受給できていない子がかなりいます。

## 次はPTA会費、クラブ活動費を

しかし、市はクラブ活動費とPTA会費は支給する気がありません。

村上議員が問い質すと、「市としては就学援助は学校教育に資するものに限っていて、教育とは言えないもの、法令上の学校の義務ではなく、子どもの自主性に基ついて行っているものは支給しない」と答えました。

しかし、部活もPTAも学校教育と不可分です。だから、文科省も支給すべき項目



## 5人にひとりを利用

市の就学援助率は、小学生19・9%、中学生19・6%、全国平均の15%を5%近く上回っています。制度を知らずに申請できていない人がいることも考えると、釧路ではかなり多くの子が利用していることになりそうです。

年度途中の申請も可能で

認定する年収基準も市町村ごとに大きな差があります。

## 生活保護改悪とリンクさせない

二つ目。基準となる生活保護基準額そのものの引き下げが続いていることです。そのため、市は生活保護基準額が下がって就学援助の対象からはずれる家庭が出ないように、H25年度の基準額で判定しています。これは評価できる点です。

## 生徒会費支給で前進



三つ目。支給内容は市町村が独自に決めるため、市町村によっては支給しない項目があります。市はずっと、クラブ活動費・生徒会費・PTA会費を支給してきませんでした。この問題を議会でも村上かずしげ議員などが取り上げ、女性団体などからも、繰り返し「支給項目に加えてほしい」との要望書が出されました。

こうした動きがやっと実って、市は今年度から生徒会費を支給対象に加えました。

に加えているのです。

村上議員は、「新たに支給対象となった生徒会費を加えても、就学援助費全体は、2年度と比べ2300万円も減っている。800万円余りでPTA会費の支給は可能。ぜひ、さらなる拡充を」と提案しています。



## 大喜び、入学前支給

実は別な大きな問題もありました。

就学援助の入学準備金が、入学後にしか支給されない問題です。

制服、指定ジャージ、くつ、学用品などは入学前にそろえなければなりません。そのお金の工面が大変でした。

このことも村上議員が何度も取り上げました。今では小学校、中学校ともに入学前に支給され、支給額も大幅に増えました。

2021. 4. 11

村上かずしげ通信

発行 共産党市議団 23-5212

